



TITLE:

# 表紙 (泌尿器科紀要 第32巻第4号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第32巻第4号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要  
1986, 32(4): 660-660

ISSUE DATE:

1986-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/118782>

RIGHT:

泌 尿 紀 要  
Acta Urol. Jpn.

Vol. 32, No. 4 ACTA UROLOGICA JAPONICA April 1986

# 泌 尿 器 科 紀 要

第 32 巻 第 4 号 1986 年 4 月

Human Tumor Clonogenic Assay を用いた各種インターフェロンに

- 対する泌尿器腫瘍の感受性の検討……………松山 豪泰… 503  
コアグラム腎盂切石術の検討……………森 義人・ほか… 513  
腎盂腫瘍の臨床的観察……………山口 千美・ほか… 519  
経時的尿路細胞診と尿路上皮腫瘍の管理……………川地 義雄・ほか… 527  
硬性尿管鏡による経尿道的尿管結石摘出術……………川村 直樹・ほか… 533  
膀胱癌における epithelial membrane antigen, carcinoembryonic antigen  
および secretory component の免疫組織化学的局在……………高士 宗久・ほか… 541  
精漿中  $\gamma$ -glutamyl transpeptidase ( $\gamma$ -GTP) の研究……………内島 豊・ほか… 553  
三重大学泌尿器科における尿路結石症の臨床的観察……………西井 正治・ほか… 561  
抗菌剤徐放性尿道留置カテーテルの効果

第1編: クロルヘキシジン徐放性天然ゴム Foley カテーテルの

- 尿路感染防止効果について……………中野 博・ほか… 567  
対側副腎転移をきたした腎細胞癌の1例……………近藤 宣幸・ほか… 575  
腎結石に合併した腎結腸瘻の2例……………諸角 誠人・ほか… 581  
腎盂尿管移行部狭窄に合併した長大な尿管ポリープの1例……………管尾 英木・ほか… 586  
膀胱軟結石の1例……………堀 夏樹・ほか… 592  
膀胱海綿状血管腫の1例……………関井謙一郎・ほか… 595  
内腸骨動脈塞栓術後に坐骨神経痛を合併した1例……………吉貴 達寛・ほか… 603  
尿道粘膜腺癌下に内視鏡的内尿道切開術を施行した1例……………李 漢榮・ほか… 609  
副睪丸 Adenomatoid tumor の2例……………宮崎 尚文・ほか… 611  
結節性動脈周囲炎様組織所見と脂肪変性のみられた  
精索血管炎の1例……………高井 計弘・ほか… 615  
尿管結石による疼痛発作に対する Buprenorphine の臨床効果……………池田 彰良・ほか… 619  
二重盲検法におけるアリルエストレノールの  
前立腺肥大症に対する臨床効果……………志田 圭三・ほか… 625  
前立腺肥大症に対する Allylestrenol (Org AL-25) の臨床的検討  
一経直腸的超音波断層法による前立腺形態,  
重量の変化と排尿機能の変化について……………大山 正明・ほか… 649

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,  
Kyoto University, Kyoto Japan 606  
京 都 大 学 医 学 部 泌 尿 器 科 学 教 室

## 購 読 要 項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投 稿 規 定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
  - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig)10枚、表(Table)10枚までとする。
  - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
  - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。  
(例：山田・ほか：前立腺がん・PSAP)
  - (4) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
  - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
  - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %,  $^{\circ}$ C, pH などとする。
  - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。図・表は誤りのないことを確認のうえ、

編集委員 石神 滋次 前川 正信  
園田 孝夫 友吉 唯夫

トレースして紙焼したものが見やすい。様式については本誌の図・表を参照する。

- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。

(例：山田<sup>1,3,7)</sup>, 田中ら<sup>1,3-10)</sup>によると)

雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年

単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
- (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。

## 3. 掲 載

- (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
- (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
- (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。

## 4. 別 刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重 新谷 浩  
吉田 修(主 幹)